

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	49
実施計画事業名	良好な土地利用の推進	担当部署名	都市計画課	
事業の実施目的及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画	
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の機能保全/産業拠点の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画基礎調査の実施 都市計画GISデータ修正、システム保守 景観審議会の開催 景観まちづくり市民懇談会の開催 景観計画区域内行為の届出制度の運用 協働による景観まちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画GISデータ修正、システム保守 景観審議会の開催 景観まちづくり市民懇談会の開催 景観計画区域内行為の届出制度の運用 協働による景観まちづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画GISデータ修正、システム保守 景観審議会の開催 景観まちづくり市民懇談会の開催 景観計画区域内行為の届出制度の運用 協働による景観まちづくりの推進
事業費	16,102千円	3,000千円	3,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画決定・変更に関する経費
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画GIS整備事業
	7-3-1	都市計画総務費	景観形成促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	都市計画決定・変更の実施 生産緑地地区の変更 都市計画基礎調査を実施 土地利用等の現況調査を行い、千葉県に成果品を提出 都市計画地理情報システム整備 都市計画GISシステム保守、住宅地図データの更新、都市計画決定・変更データの更新 景観まちづくり市民懇談会の開催(書面開催) 今後の景観まちづくり市民懇談会の活動・取り組み内容についての検討	当初予算	16,102,000円
		予算現額	13,264,000円
		決算額	12,976,258円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観審議会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0				
	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1				
	都市計画基礎調査	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100				
都市計画基本図の修正	%	目標値	-	-	-	-	100	
		実績値	-					
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	86				
	市街化区域人口	人	目標値	82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値	85,038				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	景観審議会は、案件がなかったため、開催なし。景観まちづくり市民懇談会は新型コロナウイルスの影響により、1回開催(書面)となった。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、ほぼ計画どおり事業を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、今後も継続して事業を実施する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	50
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援	担当部署名	都市整備課	
事業の実施目的及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行ってまいります。			
関連施策	【4-1】 適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理事業 都市計画法	
取組方針	開発検討拠点の事業促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・発起人会及びその後継組織となる組合設立準備委員会を中心とした地権者合意形成の支援 ・事業認可図書作成等の認可手続き等の支援 ・環境影響評価に係る現況調査及び予測評価の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業認可取得の支援 ・都市計画道路・土地区画整理事業等の都市計画変更の実施 ・土地区画整理事業の実施に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の実施に対する支援
事業費	259,983千円	未定	未定

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-5	区画整理事業費	印旛中央地区に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	・発起人会及びその後継組織となる組合設立準備委員会を中心とした地権者合意形成の支援として、地権者への制度周知及び事業協力を頂けるよう支援に努めた。当初は組合設立準備委員会を立上げ、機能を移行する予定であったが、発起人会の会議において、準備委員会への移行は不要と判断されたため、発起人会で事業認可を目指すこととなった。	当初予算	259,983,000円
	・事業認可図書作成等の認可手続き等の支援を適正に行い、円滑に事業進捗するよう発起人会と共同で対応している。引き続き、事業認可取得まで支援に努める必要がある。	予算現額	213,662,000円
	・環境影響評価に係る現況調査及び予測評価の実施について、追加調査(補充調査)より、評価結果としてまとめた。	決算額	193,126,590円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	1	1
			実績値	1				
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5			
			実績値	9				
				目標値				
				実績値				
成果指標	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足				
			実績値	発足				
	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	-	発足			
			実績値	-				
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	5	10	15
			実績値	-				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地権者説明会の実施回数が1回であるが、説明会への参加が困難な方へ、文書等により事業の説明を行い対応した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	当初は組合設立準備委員会を立上げ、機能を移行する予定であったが、発起人会の会議において、準備委員会への移行は不要と判断されたため、発起人会で事業認可を目指すこととなった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	印旛中央地区の都市的土地利用の促進により地域の特性を活かした持続的なまちづくりを推進し、市の持続可能な発展に寄与する。しかし、事業認可取得までは、多くの利害関係者のご理解の取得に多くの時間と人材が必要となる。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	51
実施計画事業名	地籍調査の推進	担当部署名	都市計画課	
事業の実施目的及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画	
取組方針	土地保全の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施
事業費	59,860千円	55,000千円	55,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	地籍調査事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・第1工区の3年目作業(地籍図の作成、面積測定、権利者による閲覧等)を実施 ・第2工区の2年目作業(復元測量、現地調査等)を実施 ・第3工区の1年目作業(調査図素図、地籍調査票作成等、事前現地調査、現況測量等)を実施 各工区とも計画どおりに進捗した。	当初予算	59,860,000円
		予算現額	51,993,000円
		決算額	51,099,984円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0				
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894				
	地籍簿(案)及び地籍図(案)の閲覧率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	36.6				
			目標値					
			実績値					
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7				
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	4	5
			実績値	1				
	成果の閲覧及び交付件数(総数)	件	目標値	1	2	4	6	8
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地籍調査事業の周知については、新型コロナウイルスの影響により説明会を中止とし、郵送による説明とした。その他、調査実施筆数については目標値を上回った。また、地籍簿及び地籍図の作成を行い閲覧体制を整えた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	境界の同意率については、99%を超えたものの、100%には至らなかった。完了工区数及び成果の閲覧・交付について、目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和3年度は、第1工区の完了から国への認証依頼まで行えた。引き続き第2、第3工区の作業を進め、令和4年度からは第4、第5工区の一年目作業に着手する。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地籍調査事業計画に基づき、地籍調査を実施する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	52
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進	担当部署名	建築指導課
事業の実施目的及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。		
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律 印西市耐震改修促進計画
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) 危険ブロック塀等除却費補助金20件 耐震相談会の開催3回 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) 危険ブロック塀等除却費補助金20件 耐震相談会の開催3回 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) 危険ブロック塀等除却費補助金20件 耐震相談会の開催3回
事業費	11,974千円	6,974千円	6,974千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	住宅・建築物耐震改修促進事業
	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断2件) 危険ブロック塀等除却費補助金4件 耐震相談会の開催3回 	当初予算	11,974,000円
		予算現額	7,266,000円
		決算額	6,789,011円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4				
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、広報、ホームページの他、町内回覧で周知をし、危険ブロック塀等除却費補助金は、広報、ホームページの他、所有者に案内を配布して周知を図ったが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	各々の補助金とも広報、ホームページの他、住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、町内回覧で、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に案内を配布して周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、広報、ホームページで周知を図ることの他、住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、町内回覧で、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	53
実施計画事業名	空家等対策の推進	担当部署名	建築指導課	
事業の実施目的及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画	
取組方針	空家等対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催3回 空き家リフォーム工事補助金10件 空き家バンク成約補助金10件 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催3回 空き家リフォーム工事補助金10件 空き家バンク成約補助金10件 	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催3回 空き家リフォーム工事補助金10件 空き家バンク成約補助金10件
事業費	9,559千円	4,559千円	4,559千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策協議会の開催2回 空き家バンク成約補助金1件 	当初予算	9,559,000円
		予算現額	6,751,000円
		決算額	6,274,011円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
成果指標	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0				
	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金は、広報、ホームページの他、市内の不動産仲業者に通知して周知を図り、空き家バンクは、広報、ホームページの他、空き家の所有者に案内を郵送して周知を図り、体制を整えていたが、令和3年度の実績はなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、広報、ホームページ及び関係者に通知して周知をし、成果指標に掲げる件数については、近隣市町の実績を考慮して見直しを検討するとともに、成果指標を向上させる新たな事業の検討を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	54
実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進	担当部署名	都市整備課	
事業の実施目的及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるよう適切な維持管理に努めます。遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画	
取組方針	公園の適切な維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の定期点検 公園施設の計画的な補修・更新等 松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修実施設計 松山下公園大型照明灯改修実施設計 指定管理者制度の導入・活用の検討 公園美化活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の定期点検 公園施設の計画的な補修・更新等 松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修工事 松山下公園大型照明灯改修工事 指定管理者制度の導入・活用の検討 公園美化活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具等の定期点検 公園施設の計画的な補修・更新等 松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修工事 松山下公園大型照明灯改修工事 松山下公園野球場改修実施設計 指定管理者制度の導入・活用の検討 公園美化活動への支援
事業費	625,951千円	1,080,000千円	1,100,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-3-3	公園費	公園緑地維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	・115公園、1緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を7件実施した。その他、園路灯などの修繕を85件,フェンス等の工事を1件実施した。 ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修実施設計を実施した。 ・松山下公園大型照明灯改修実施設計を実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、近隣市町村の導入状況の確認を行った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要となる清掃用具等を提供した。	当初予算	625,951,000円
		予算現額	628,686,000円
		決算額	518,374,389円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25				
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30				
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					
成果指標	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度も適切な公園施設の管理を推進する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	55
1. 事業の概要			
実施計画事業名	道路網の整備	担当部署名	建設課
事業の実施目的及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。		
関連施策	【4-3】 道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実		
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業 ・橋梁上部工事 ・堤脚水路工事 ○市道00-122号線整備事業 ○市道竜腹寺線整備事業 ・歩道舗装工事 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得・補償 ・詳細設計業務 ○市道18-045号線整備事業 ・用地取得・補償 ・修正設計 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路予備設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得・補償 ・流末排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・都市計画事業認可申請 ・詳細設計業務 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業 ・交差点改良工事 ○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得・補償 ・道路詳細設計 ・流末排水整備工事 ○市道18-045号線整備事業 ・用地取得・補償 ・整備工事 ○市道25-054号線道路詳細設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得・補償 ○市道00-008号線整備事業 ・用地取得・補償 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・工事用道路詳細設計 ・文化財調査 ○市道00-107号線整備事業 ・文化財調査 ・流末排水整備工事 ○市道18-045号線整備事業 ・整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線用地取得、補償 ○市道00-031号線整備事業 ・都市計画事業認可申請 ・排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施
事業費	840,350千円	948,000千円	954,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大業予算)
関係予算	7-1-3	道路新設改良費	市道00-026号線延伸区間道路整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道松崎吉田線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道竜腹寺線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道00-107号線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道18-045号線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-1-3	道路新設改良費	その他市道整備事業
	7-3-2	街路事業費	市道00-031号線整備事業
	7-3-2	街路事業費	市道00-008号線整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業 ・橋梁上部工事、堤脚水路工事実施 ○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事L=250m実施 ○市道竜腹寺線整備事業 ・歩道舗装工事L=198m実施 ○市道00-107号線整備事業 ・詳細設計実施 ○市道18-045号線整備事業 ・修正設計実施 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路予備設計実施 ○市道00-008号線整備事業 ・都市計画事業認可取得、詳細設計業務実施 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	当初予算	840,322,000円
		予算現額	1,145,505,300円
		決算額	598,226,034円
		翌年度繰越額	397,800,400円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	-
			実績値	250				
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	-	725	725
			実績値	-				
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	-	-	-	145	145
			実績値	-				
市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	330	-	-	
		実績値	-					
北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2	
		実績値	2					
成果指標	市道00-026号線延伸区間道路整備事業 進捗率	%	目標値	80	100	-	-	-
			実績値	70				
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	-
			実績値	45				
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20				
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10				
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20				
	市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	45				
市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	-	-	
		実績値	20					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部工事区間に遅延が生じており、目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部事業に遅れが生じ、目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	各事業の完了に向け、引続き進捗を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	56
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進	担当部署名	土木管理課	
事業の実施目的及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】 道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 市道及び市管理道路等の維持管理 道路パトロールの実施 舗装修繕の実施 街路樹等の維持管理 ふれあいロード美化活動への支援 橋梁定期点検の実施 橋梁補修の実施 側溝整備の実施 側溝等の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 市道及び市管理道路等の維持管理 道路パトロールの実施 舗装修繕の実施 街路樹等の維持管理 ふれあいロード美化活動への支援 橋梁定期点検の実施 橋梁補修の実施 側溝整備の実施 側溝等の清掃 	<ul style="list-style-type: none"> 市道及び市管理道路等の維持管理 道路パトロールの実施 舗装修繕の実施 街路樹等の維持管理 ふれあいロード美化活動への支援 橋梁定期点検の実施 橋梁補修の実施 側溝整備の実施 側溝等の清掃
事業費	1,176,535千円	1,010,173千円	1,019,741千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	7-1-2	道路維持費	道路維持修繕に要する費用
	7-1-4	橋りょう維持費	橋りょう維持修繕に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロール 週5日、242日/年 ふれあいロード美化活動への支援 16団体に花苗支給 舗装修繕工事 L=3,974m 橋梁定期点検 N=72橋 橋梁補修工事 N=1橋 側溝等の清掃 L=3,512m 	当初予算	1,176,535,000円
		予算現額	1,490,705,770円
		決算額	987,367,015円
		翌年度繰越額	397,883,900円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242				
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72				
				目標値				
				実績値				
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	計画策定中	計画策定中
			実績値	3,974				
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	-	1	3	7	8
			実績値	1				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	57
実施計画事業名	水道の安定供給	担当部署名	水道課	
事業の実施目的及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 アセットマネジメント 水道事業ビジョン 基本計画 経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 配水整備工事(吉田地先) L=708m 松崎配水場中央監視制御装置等更新工事 漏水調査と修繕により有収率の向上を図る。 漏水調査及び修繕(平賀地区) <p>経営戦略については、策定より5年が経過し、これまでの「経営戦略」に基づく取り組みの進捗管理と、より質の高い経営戦略にするため改定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略改定業務委託(水道) 	<ul style="list-style-type: none"> 配水整備工事(岩戸・吉田地先) L=406m 漏水調査及び修繕(平賀地区) 経営戦略に基づく整備・更新 ※実施内容等については、経営戦略改定後とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 配水整備工事(吉田地先) L=996m 配水量調査を実施し無効水量の多い地区の特定。 漏水調査及び修繕 経営戦略に基づく整備・更新 ※実施内容等については、経営戦略改定後とする。
事業費	468,217千円	350,000千円	350,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	【水道事業会計(収益的支出)】		
	1-1-2	配水及び給水費	
	1-1-3	総務費	
	【水道事業会計(資本的支出)】		
	1-1-1	建設工事費	
	1-1-3	建設改良費	

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果 吉田地区配水整備事業 L=761m 配水場電気計装設備等改良工事 一式 経営戦略改定及び施設更新計画策定業務委託 一式 漏水調査業務委託(R3) L=777m	当初予算	468,217,000円
	予算現額	468,217,000円
	決算額	373,208,012円
	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761				
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1				
				目標値				
				実績値				
成果指標	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38				
	水道の普及率(千葉県・印西市・長門川水道企業団など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70				
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	引き続き吉田地区の整備及び漏水対策を行っていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	今後も目標値を上まよう、努力していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後も目標値を上まよう、努力していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を行い未普及地域の解消を図る。また、既設水道設備の老朽化に対応するため、耐震化や更新等維持管理を進める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	58
実施計画事業名	計画的な下水道の整備		担当部署名	下水道課
事業の実施目的及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道(雨水)の整備・充実を図り、浸水防除に努めます。 さらに、下水道施設全体を一体的に捉え、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るためストックマネジメント計画を進めるとともに、下水道施設(主に管路)の地震対策を進めます。			
関連施策	【4-4】上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 L=170m 公共下水道ストックマネジメント事業 ・木下中継ポンプ場設備改築工事 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策詳細設計 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事 L=14.5m ・経営戦略策定業務委託	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 公共下水道ストックマネジメント事業 ・木下中継ポンプ場設備改築工事 ・管路施設改築工事 L=72m 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 ・公共下水道全体計画変更業務委託 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事 L=45m ・修繕・改築計画策定業務委託 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事
事業費	356,917千円	300,000千円	150,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	【下水道事業会計(収益的支出)】		
	1-1-4	総係費	
	【下水道事業会計(資本的支出)】		
	1-1-1	汚水管路建設改良費	
	1-1-2	雨水管路建設改良費	
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	
	1-1-5	建設事務費	

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	当初予算	356,917,000円
	予算現額	353,429,463円
	決算額	245,439,943円
	翌年度繰越額	34,477,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3
			実績値	3				
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	-	2	3	1
			実績値	2				
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
			実績値	1.0				
中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	-	1	1	
		実績値	1					
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	-	100	100	100
			実績値	100				
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63
			実績値	62				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部繰越した事業はあるが、概ね予定通り実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響等により、遅れた事業の早期完了を図るとともに、引き続き、老朽化、地震対策を計画的に進めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	59
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移動手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移動手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいバスの運行(6ルート) 路線バスへの補助(4ルート) 印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 印西市地域公共交通計画に基づく路線の再編、及び運賃の改定検討 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいバスの運行(6ルート) 路線バスへの補助(4ルート) 印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 印西市地域公共交通計画の進捗管理 印西市地域公共交通計画に基づく路線の再編、及び運賃の改定検討 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいバスの運行(6ルート) 路線バスへの補助(4ルート) 印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 印西市地域公共交通計画の進捗管理
事業費	173,454千円	169,300千円	169,300千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業
	2-1-6	企画費	路線バス運行対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	・ふれあいバス6ルートを運行した。 ・スワン号の実証運行を継続した。 ・印西市地域公共交通計画に基づく「バス利用環境の改善」として、バス停付近にベンチの設置を3箇所(5基)行った。 ・六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線の4路線バス事業者へ補助金交付を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策交通事業者支援補助金交付を行った。 ・バスの利用者数については、前年度に引続き、コロナ禍により回復が鈍った。	当初予算	173,454,000円
		予算現額	177,781,000円
		決算額	162,221,858円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3				
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			目標値					
			実績値					
成果指標	外出時の自家用車使用率	%	目標値	75	75	75	70	70
			実績値	75				
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000
			実績値	237,528				
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200
			実績値	207,082				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したと思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいバスについては、今後もダイヤ改正やルートの変更等の見直しを適宜行いながら、引続き事業を実施する。実証運行中のスワン号については、利用状況の検証等を行い、運行の周知及び利用促進を図る。 路線バス事業については、市民の利便性と福祉の向上を図るため、引続き事業を継続する。実証運行中の宗像路線については、利用状況の検証を行い今後の対応について検討する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおして、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおして、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 ・2021年度は、成田線開通120周年記念に関する各種事業 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。
事業費	125,709千円	134,958千円	129,958千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	当初予算	125,709,000円
	予算現額	125,138,000円
	決算額	113,133,653円
	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	1
			実績値	3				
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,872				
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	2				
吉高の大桜運行バスの利用者	人	目標値	500	500	500	500	500	
		実績値	—					
ほくそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	
		実績値	—					
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,150	4,200
			実績値	3,406				
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,000
			実績値	3,066				
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286				
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412				
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、乗降客数が減少し目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	北総線については、長年の様々な取り組みの成果として、令和4年10月1日から運賃値下げが実現することになった。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	61
実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画	
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進		印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例	
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例施行規則	

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対する指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対する指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対する指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施
事業費	4,506千円	4,500千円	4,500千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-2-1	清掃総務費	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業
	4-2-1	清掃総務費	クリーン印西推進運動事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	【クリーン印西推進運動・ゴミゼロ運動】 町内会・自治会等381団体に参加の呼びかけを行い、下記のとおり参加があり、地域美化の意識向上を図った。 ・クリーン印西推進運動 150団体、延べ19,369人 ・ゴミゼロ運動 中止(HP4/15、各団体宛文書4/17) (参考)・クリーン印西推進運動 158団体、延べ25,386人(R2年度) ・ゴミゼロ運動 193団体、12,825人(R元年度)※R2は中止	当初予算	4,506,000円
	【歩行喫煙、ポイ捨て等防止】 指導職員(再任用職員)によるパトロールを225日実施、市内全域において、79件の口頭指導を行った(過料案件は無し)。条例の啓発として、4月、12月の各1か月間、千葉ニュータウン中央駅および印西牧の原駅改札内へ啓発物資を設置した。また、市内住宅街を中心として、車両(スピーカー)での啓発活動を引き続き行った。 (参考)(R2年度)・パトロール回数 215日 ・口頭指導件数 95件	予算現額	3,422,000円
		決算額	2,764,299円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数(歩行喫煙・ポイ捨て)	日	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	225				
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防止の啓発活動(車両広報・駅頭啓発)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	73				
	クリーン印西推進運動等の啓発活動(広報紙・HP・自治会長説明会等)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導件数(年)	件	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	79				
	クリーン印西推進運動参加団体数	団体	目標値	155	157	159	161	163
			実績値	150				
	ゴミゼロ運動参加団体数	団体	目標値	190	191	192	193	194
			実績値	中止				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	クリーン印西推進運動に関しては、一部の地域・団体では定着しているものの、ゴミゼロ運動のように市の主導でなければ実施に踏み切れない団体も多いことから、町内会長、クリーンパートナー等の説明会時において周知に努め、クリーン印西推進運動の新規参加団体数を増加させたい。また、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業については、日々の違反指導、条例啓発等の活動により、指導件数は徐々に減りつつあるが、早朝・夜間での違反行為に対し、幅広い時間帯での指導・啓発活動や看板等表示物の内容、設置場所の見直し等により、引き続きマナーの向上を推進する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	62
実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
取組方針	不法投棄防止対策の強化			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視カメラの運用 委託業者、市職員による監視パトロール 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視カメラの運用 委託業者、市職員による監視パトロール 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視カメラの運用 委託業者、市職員による監視パトロール 自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去
事業費	6,364千円	6,300千円	6,300千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-2-1	清掃総務費	不法投棄対策に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> 監視カメラの運用(85台) (うち機動性の高い小型監視カメラをR3年度に10台更新) 職員による不法投棄防止夜間パトロールの実施(7回) 不法投棄等監視パトロール業務委託(103回) (パトロールコース、定点監視箇所の見直し、委託業者車両への青色回転灯装着を実施した) 自治会との協働による不法投棄物の撤去(師戸区) 	当初予算	6,364,000円
		予算現額	5,510,000円
		決算額	5,085,070円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	195				
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103				
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85	
		実績値	85					
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	135	130
			実績値	112				
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41				
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	定期的なパトロールおよび監視カメラ等による監視体制を維持するとともに、不法投棄の発生状況や傾向を考慮し、各種見直しを行うこと等により、不法投棄されにくい環境づくりを継続的に進め、更なる不法投棄の抑止に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	63
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。 ・竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供や除染作業等を実施し、市民の健康管理体制の充実に努めます。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例、印西市環境保全条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法、印西市放射性物質除染実施計画	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査
事業費	19,289千円	19,289千円	17,012千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	浦部地区の汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化はすこしづつではあるが成果が出ている。小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。大気中放射線量等のモニタリング調査では、基準値を超える結果は出ていない。市内公共施設等大気中放射線量測定件数193箇所を実施。	当初予算	19,289,000円
		予算現額	20,692,000円
		決算額	18,659,780円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	144				
	小林地区地下水汚染機構説明モニタリング	試料	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30				
	竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	14				
成果指標	地下水汚染(観測井戸)除去の状況(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値に達することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値に達することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討して行く必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	64
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	市内における鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、本事業を実施し、被害の軽減等を図っていきます。 イノシシ・アライグマ・タヌキ・ハクビシン・カラス等鳥類については農業被害が特に深刻であることから、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に係る法律第4条において規定されている被害防止計画を策定(H24)し、国等からの財政支援を受けながら、防除・捕獲・環境整備を実施します。 千葉ニュータウン中央駅付近に大群で出没し、周辺住民へ騒音・糞尿による生活環境被害を及ぼしているムクドリに対し、鷹匠による追い払い等を実施します。その他の鳥獣についても、被害状況に応じ対策を実施します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害防止のための特別措置法 印西市鳥獣被害防止計画	
取組方針	鳥獣被害対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止 ・ICTを用いた捕獲機器の導入	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止 ・ICTを用いた捕獲機器の導入	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止
事業費	34,653千円	34,653千円	34,653千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-6	環境保全費	鳥獣被害対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	当初予算	34,653,000円
	予算現額	37,783,000円
	決算額	32,792,809円
	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	m	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	30,500				
	捕獲従事者数(有資格者)	人	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	65				
				目標値				
				実績値				
成果指標	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
			実績値	733				
	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	匹	目標値	400	500	500	500	500
			実績値	320				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イノシシ用電気柵設置距離数は目標値を上回ることができた。しかしながら、駆除従事者の確保は目標値を上回ることができなかったため、より一層の周知をはかり、対策を進めていきたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イノシシ及び小型獣の捕獲数は目標値を上回ることができなかった。しかしながら、被害状況等を考慮すると一定の効果がでているものと考えられる。イノシシ及び小型獣ともに引き続き捕獲を進めていきたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	捕獲頭数は目標値に届かなかった。効果的な捕獲や集中捕獲を実施し、捕獲頭数を増やしていきたい。また防護柵の設置に向け、より一層周知をはかり、地域ぐるみの対策の検討を進めていきたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	有害鳥獣による被害は、各地区では減っているが広範囲に移行してきている。今後も市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に対策を進める必要がある。令和4年度から導入した鳥獣対策支援業務委託により、調査・分析を進め、今後の対策を進めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	65
実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実	担当部署名	環境保全課	
事業の実施目的及び概要	恵まれた自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。 また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例 印西市市民の森の設置及び管理に関する条例施行規則 印西市環境基本計画	
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	<ul style="list-style-type: none"> ・いんざい自然探訪の実施 ・第3次環境基本計画策定 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理
事業費	23,823千円	13,829千円	13,829千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	4-1-6	環境保全費	環境基本計画の推進事業
	4-1-6	環境保全費	草深の森等維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・第3次環境基本計画の策定 ・いんざい自然探訪の実施 (2事業実施、3事業は新型コロナウイルス感染症予防対策により中止) ・自然環境調査 ・草深の森及び里山等の保全活動(除草作業等) 	当初予算	23,823,000円
		予算現額	23,845,000円
		決算額	20,105,135円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5				
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5				
			目標値					
			実績値					
成果指標	草深の森来場者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績値	1,845				
	いんざい自然探訪参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	里山の保全活動について、当初の計画どおり実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	草深の森の来場者数は目標値を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりいんざい自然探訪等の実施回数が下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、いんざい自然探訪の開催数と参加者数が昨年度同様に例年より減少したが、感染症の予防対策を図り事業の実施を検討していく。今後も引き続き、小学生向けの環境保全企画を実施し、将来を担う子どもたちに自然の大切さを啓発していくとともに、里山保全団体の活動の推進や育成に努めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画(平成31年3月)	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント
事業費	22,161千円	22,100千円	22,100千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-2-1	清掃総務費	ごみ減量化・再資源化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・リサイクル情報広場事業は21件の譲渡成立した。 ・ごみ減量化等説明会は、町内会及び中学校に、7回延べ222人に説明会を行った。 ・廃食用油約6.1トン、使用済み小型家電約9.3トンの拠点回収を行った。 ・生ごみ処理容器等購入の117世帯に補助金交付を行った。 ・生ごみ処理機及び剪定枝粉碎機貸出を31件行った。 ・有価物集団回収奨励金事業により、約1,442トンが回収できた。 ・廃棄物減量等推進員127人がごみ減量等に関する活動を行った。 ・ごみ分別アプリは、令和3年度までに10,511人がダウンロードした。 ・環境フェスタは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しオンラインにて実施した。参加団体9団体、公開動画10点、総再生件数1,390件 ・おさがりマルシェは新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催した。配布点数1,190点、配布量153.1kg ・食品ロス削減に関するごみ減量・3R推進動画を作成し、ホームページ上で公開した。	当初予算	22,161,000円
	予算現額	21,663,000円	
	決算額	18,117,821円	
	翌年度繰越額	—	

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7				
				目標値				
				実績値				
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	461	455
			実績値	526				
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117				
	有価物集団回収奨励金交付団体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ減量化等説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言・まん延防止措置の影響を受け、申し込みが少なかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ排出量は年々減少傾向にあったが、目標値は達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が増えたこと等により、ごみの排出量が増えた。令和3年度の排出量は前年度よりも減少したが、目標値を達成することはできなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を達成した指標もあるものの、目標値に達しない実績・成果となってしまった指標もある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	現在、実施している事業を引き続き継続するとともに、事業に対する評価を踏まえ、さらなる充実に向け施策の検討を行う。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	67
実施計画事業名	環境への負荷の低減	担当部署名	環境保全課
事業の実施目的及び概要	地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減や、再生可能エネルギーの普及促進に取り組んでいくため、太陽光発電システム等の家庭用再生可能エネルギー設備や省エネ設備等の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報提供を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の簡易水質検査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。		
関連施策	【4-7】自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市市内エコプラン 浄化槽法 印西地区循環型社会形成推進地域計画
取組方針	環境への負荷の低減		
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる		

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画(具体的な内容及び数量)	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート
事業費	103,448千円	103,448千円	103,448千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-5	環境衛生費	合併処理浄化槽設置事業
	4-1-6	環境保全費	住宅用省エネルギー設備設置費補助事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の事業実績・成果	当初予算	103,448,000円
	予算現額	99,049,000円
	決算額	98,993,780円
	翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値	40	30	35	30	35
			実績値	50				
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値	70	70	70	90	90
			実績値	112				
	合併処理浄化槽設置及び維持管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値	5	-	-	-	-
			実績値	5				
太陽光設備設置基数	基	目標値	30	-	-	-	-	
		実績値	55					
定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値	-	60	60	60	60	
		実績値	-					
成果指標	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	96				
	CO2削減効果	t-CO2	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	170				
				目標値				
				実績値				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	活動指標値の目標を概ね上回ることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	水質検査結果「適正」判定率の目標値を上回ることができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・活動指標の「太陽光設備設置基数」は、令和3年度をもって千葉県補助対象設備でなくなったことに伴い、市の補助金についても同様に対象外としたため、令和4年度からは新たに「定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数」を指標として設定する。 ・脱炭素社会やSDGsの実現に向けて今後も継続していく。